

関税庁、平昌冬季オリンピックの安全な開催に向けた旅行者携帯品の集中検査を実施

- 関税庁は、平昌冬季オリンピックの安全な開催に向け、26日から3月18日までの約7週間、仁川国際空港などの全国の空港・港湾で、旅行者携帯品の集中検査を実施する。
 - そのため、X線検査機など、全国の税関で利用可能な装備を最大限活用し、
 - 243名の人材を旅行者携帯品の検査分野に追加的に再配置するなど、関税庁の総力をあげて、物品検査に集中する方針である。

- 全ての旅行者携帯品[※]は、全量X線検査を原則とする一方で、携帯品の開被検査、旅行者の身辺検査を大幅に強化し、
 - ※ 寄託手荷物、携帯手荷物
 - テロ危険物品の国内への搬入を徹底的に遮断する計画である。

- 関税庁は、集中取締りの間、旅行者携帯品の検査の強化により、空港の入国場が混雑し、待機時間がいつもより最大で1～2時間長くなるなど、不便があるとしても、国家的な行事であるオリンピックの成功的な開催に向け、旅行者の自発的な協力と理解を求めた。